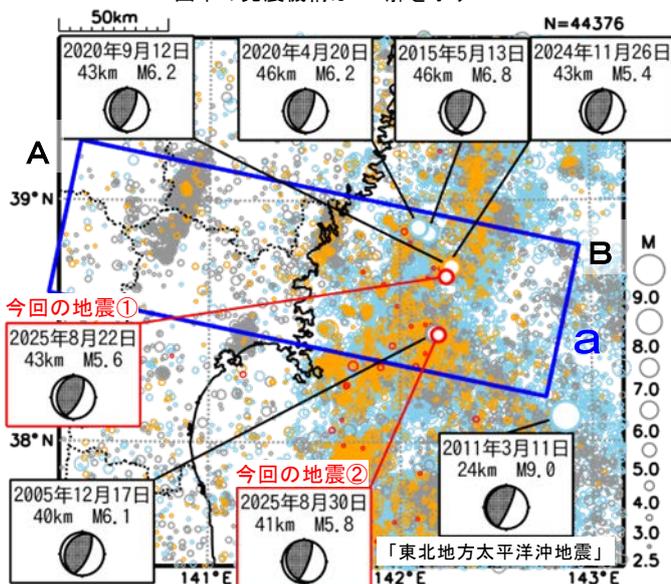


8月22日、30日 宮城県沖の地震

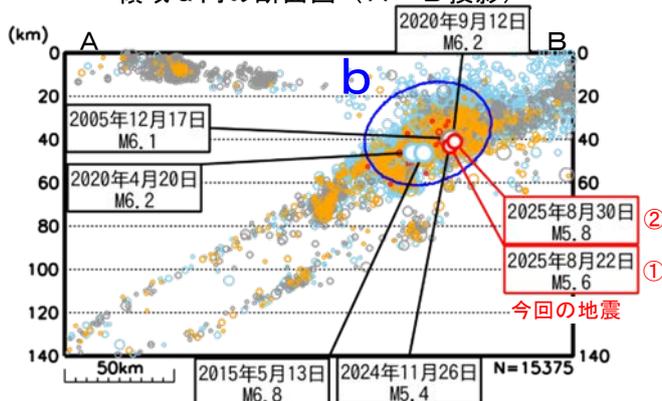
震央分布図

(1997年10月1日～2025年8月31日、
深さ0～140km、 $M \geq 2.5$)

- 1997年10月1日～2011年2月28日
 - 2011年3月1日～2020年8月31日
 - 2020年9月1日～2025年7月31日
 - 2025年8月1日以降
- 図中の発震機構はCMT解を示す



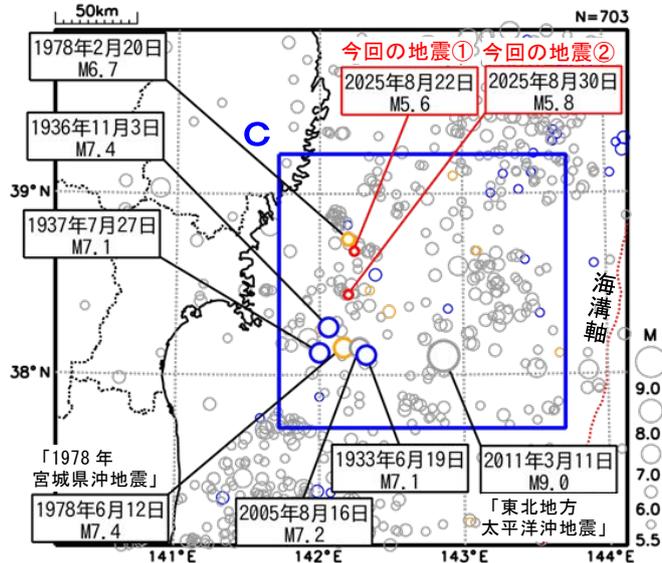
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1919年1月1日～2025年8月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.5$)

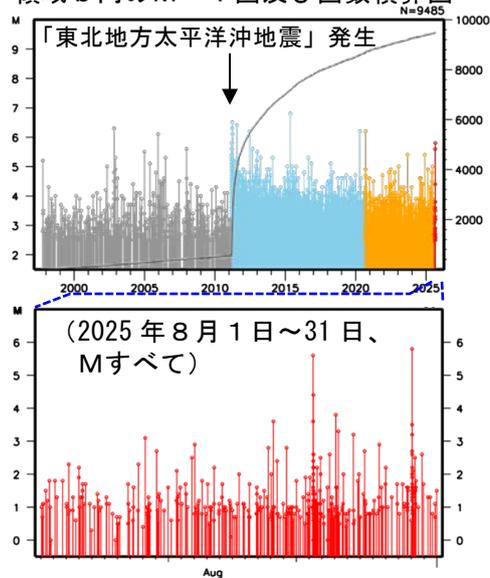
- 1933年1月1日～1937年12月31日
- 1978年1月1日～1979年12月31日
- 2025年8月1日～2025年8月31日
- 上記以外の期間



2025年8月22日07時34分に宮城県沖でM5.6の地震 (深さ43km、最大震度3、図中①) が発生した。また、この地震の震央の南約30km付近で30日01時29分にM5.8の地震 (深さ41km、最大震度4、図中②) が発生した。これらの地震の発震機構 (CMT解) は、①の地震は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型、②の地震は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。これらの地震は共に太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。22日の地震 (図中①) の震源近傍では、22日08時06分にM4.4の地震 (最大震度2)、24日02時18分にM3.8の地震 (最大震度1) が発生している。

1997年10月以降の活動をみると、これらの地震の震源付近 (領域b) では、2015年5月13日にM6.8の地震 (最大震度5強) が発生するなど、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、「東北地方太平洋沖地震」) 発生以降、地震活動が活発化し、M5.0以上の地震の発生回数が増加している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では「東北地方太平洋沖地震」のほか、M7.0以上の地震がしばしば発生している。1978年には「1978年宮城県沖地震」 (M7.4、最大震度5) が発生し、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟等の被害 (被害は「日本被害地震総覧」による) のほか、仙台新港で30cmの津波を観測するなど、北海道から千葉県のパシフィック沿岸で津波を観測した。

領域c内のM-T図

